

2026.7.28.研修会資料

「繋ぐ、未満児編」～今年の実践が来年へとつながる～

作業療法士：山田 剛

1. 私が子ども園で実践していること（0，1，2歳児クラスを担当しています）

- それぞれのクラスの中で先生方と一緒に園児たちと過ごす
- 気になる子、気になる様子などを先生方からうかがう
- 午睡の時間を中心にクラス担任の先生方と話し合い

2. 各クラスで取り組んでいるサーキット活動（運動）のこと

- 全身運動が大切

⇒土台がしっかりするから、安定して動くことが出来る

体幹・骨盤・股関節、体幹・肩甲帯・肩関節が安定するから姿勢が安定する。

姿勢が安定するから、座位姿勢が良くなる

座位姿勢が良くなるから、手の使い方が上手になる。

3. 作業療法士の関わりのこと

- リハビリテーションは魔法ではありません

OT やまだの力不足なのかもしれませんが何でもかんでもあっという間に解決することは出来ません

- 作業療法士と子ども園のスタッフは素敵なコラボレーションが出来ます

- 比較することが大切

比べるのは悪いことじゃない

比較するから支援も行いやすくなる

- 運動のこと、視覚支援のこと、構造化のこと

4. 「繋ぐ、未満児編」～今年の実践が来年へとつながる～ ってどういうこと？

- 児の在籍期間はそれぞれですが、最長 6 年関わる事が出来る
- 毎日関わる事が出来る
- 共通の視点を持ちながら関わる事が出来る
- 子供の成長や情報を共有する事が出来る

実は、
凄いことなんですよ！

Ⅰ歳児のクラスの先生が2歳児のクラスの児のことを知っている

Ⅰ歳児のクラスの先生が昨年と今年のⅠ歳児クラスの子どもの様子を比較
できる

それぞれの年齢別のクラスで、目指すべきことは異なりますが、その年齢で獲得している
身体技能や運動機能などを基にして翌年度のクラス活動につながっていきます。

それぞれのクラスでは児の行動に対して「今」困っていることがたくさんありますが、
できる事なら、半年前、1年前、2年前と比較して、いろいろ課題は抱えつつも成長や
変化しているという事にも目を向けてみてください。